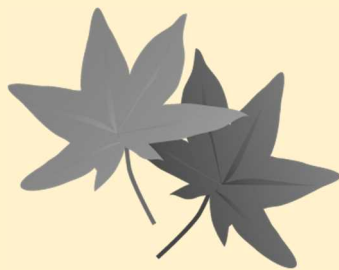


# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



つゆ草の愛しいほどの青さかな

西町 杉浦とし枝

こおろぎよ誰を恋るか闇に鳴く

元町 西崎弘子

息を呑む赤に橙秋の夕

藤本町 鈴木ゆき子

蝉時雨太く短く今を生く

元町 印牧安子

塀こえて黒き葡萄の照り深く

西岡町 高瀬久美子

急坂を転がるに似て晩夏かな

緑町 池田良子

秋めいて早朝からの庭掃除

東町 高橋世津子

夜半の雨音なく涼を連れてくる

西原町 児玉久美子

国道の歩道突き抜け芒伸ぶ

仲町 梅基文子

百葉箱ばちの白のあざやか万緑下

仲町 芳賀星子

秋風のぶつかつてくる寓居かな

仲町 玉野研一

人去ればたちまち野道虫時雨

旭町 大河博子

京の香を灰のかに残す秋扇

西町 金澤頼子

お供えのりんご皮むく食後かな

西町 岸波君江

果てる迄つかず離れず秋の蝶

仲町 坂部和子